第 2012-04 号

恵みと真理のニュース



2012 年 2 月の二次 恵みと真理教会 韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / 2782-31-443-3731 / www.gntc.net



[証] 旦那を守って下さって感謝します。

私は偶像崇拝をする雰囲気の中で育てられました。しかし、私は小学校6年生の時、教会に行ったことがあります。最初るる学校行けばプレゼントがもらえるセクリスマスに行けばかりませんがました。その他に覚えは特に足を踏むことにで教会に足を踏むことになりました。

大人になって、今の旦那に出会い結婚をし ました。結婚して4年ぐらい過ぎても子ど もができませんでした。とても心配で病院 に行きました。その時、職場の先輩が教会 行こうと誘ってきました。しかし私は一言 で断りました。そしてある日、夢を見まし た。私が椅子に座って仕事をしていました が、聖書を持って賛美をしている人たちが 私の方に歩いて来ました。私はその人たち をずっと見つめていてその後、目が覚めま した。そのあと、なぜか '教会に行かない 心に強い思いができました。職場の 先輩のところへ訪ねて行って、"教会行き "と言いました。そして私の家の近 くに住んでいる人を紹介してくれました。 1989年、恵みと真理教会に行きました。教 会を通い始めてから、神様が私に子どもを 与えて下さることをとても期待しました。 しかし6ヶ月が経っても妊娠の気味がみえ ませんでした。失望感もあり、子どもがで きないことに対する圧迫感が強くなったた め、教会から離れた時期がありました。そ

が、何も答えてくれませんでした。2008年 11月のある日、私は仕事が終わっていつも のように区域礼拝を捧げました。礼拝が終 わって家に帰っていたところ旦那から留守 が入っていました。今は電話をする時間じ ゃないのに、、と思いながら掛け直しまし た。旦那は事故にあって病院に向かってい ると言いました。旦那の声が聞けたから、 そんなに心配せず私も病院に向かいました 救急室で横になっている旦那はそんなに 大きなケガなどはありませんでした。しか し、同僚たちはとても心配していました。 話を聞いたら、旦那は3000ボルトの電気に 感電されたということでした。幸いなこと に、一つの門歯が割れ、親指に傷ができた だけでした。いろんな検査をしましたが異 常はありませんでした。神様に大きく感謝 しました。旦那が事故にあったとき、私は 区域礼拝を捧げていました。時間と空間を 超える神様が礼拝を捧げている私を溢れん で下さって、旦那を守って下さったのです 。旦那も神様が助けて下さったと告白し、 神様に感謝しました。病院の医者たちもこ のぐらいの感電事故なら命を失う可能性が 高いのに、本当に奇跡だと言いました。そ の後から旦那は'奇跡の男'というあだ名 が付きました。そして、マスコミ宣教会で 奉仕を始めました。去年の4月から、お母 さんもイエスキリストを信じるようになり ました。近いうちに家族みんなを救って下 さること信じます。私たちを救って下さり いつも守って下さる神様に感謝と賛美を 捧げます。



[信仰コラム] 聖書に啓示されている天国

"あなたがたは心を 騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい……" (ヨハネの福音書14:1-3)

聖書に啓示された天国の実状について調べ ます。

 なった後、その魂は天使たちに引き上げられ、パラダイズに連れ去って祝福を味わうことができました。イエス様は天国が確実に実存する所であることをおっしゃっています。(ヨハネの福音書14:1-3)

聖書は天国を形用する多様な名前として、 天国の性格と実状を見せています。イエス 様が十字架につけられた時 'パラダイス' と言いました。またイエス様は '私の父さ んの家 'と言いました。家庭と同じく愛の 交わりと安息ができる所であることを意味 しています。天国で私たちは永遠に主と共 に生きて完全な安息を味わうことができま す。黙示録には `新しいエルサレム´と言 いました。そこにはないものがあります。 死亡と悲しいこと、痛いこともなく、夜も なく俗なるもの忌むことと嘘をつく人もい ません。永遠に新しい所です。天国は多様 な概念をもっているため場所の概念だけで はなく、神様の治めと権力に従う個人やい ろんな人たちの集まりを意味します。また 、神様お父さんに完全に従順していたイエ スキリストを暗示します。そして、イエス キリスト、神様の絶対権力、治めを喜んで 受け取るその中に神様の御国が行われます

聖書は天国を人の言葉では正しく表現することができない所であることを明らかにしています。使徒パオルは、最高の学部を優等生として卒業した人であって賢くて特に文法力がとても上手でした。しかし、彼が

パラダイスに連れ去って来て、このように言いました。"言葉で表せる正しい単語がありません。"

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム '緑の牧場、清い川'本の語り中」

###

恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

イエスが言われた。「それでは、あなたがたは わたしを何者だと言うのか。」

シモン.ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。

すると、イエスはお答えになった。「シモン. バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのこと を現したのは、人間ではなく、わたしの天の父 なのだ。」とおっしゃいました。

"あなたがたはわたしを何者だと言うのか"はイエス様が弟子たちに問いた。このかのように限った質問じん。すべんんのは弟子で質問でありません。すべんのはます。なかかります。イエスの実体を分かります。その世に来らかので感動した。そのかります。それからの日を記念するようになります。

あなたはわたしを何者だと言うのか?"という 質問に対する答を整理する理由があります。聖 徒の皆さんが持った知識を心によく整理して信 仰がもっと強くなるのを助けるためです。聖書 は私たちにイエス様を指称する名前を啓示して います。その名前が"あなたは私を何者だと言 うのか?"という質問に対する答です。新約福 音書に啓示された七つの名前を調べて見ます。

第一、"イエス"と言う名前です。

マダイ福音1章ヘイエス様のお誕生の記録があります。『母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。

夫ョセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ョセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。』(マダイ1:18-22)

ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れ、男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。主の天使が説明したように'イエス'と言う名前はイエス様がこの世に来られた目的が罪人を救うためであることを現しています。

第二、『独り子』と言う名前です。

イエス様は神様の独り子です。神様の独り子は神様の息子という呼称と区別されます。神様の息子と言える呼称はイエス.キリストを信じる者に与えられる名前です。しかし、独り子と言う呼称はイエス様に当たる名前です。独り子の名前が記録された聖書を読んで見ます。

あなたはわたしを何者だと言うのか

『言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。』(ヨハネ1:14)

『神は、その独り子をお与えになったほどに、 世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。』(3 いれる3:16)神様の独り子は聖三位一なってお神様です。独り子はとなったたの神です。ですかられた神様の独り子がはなる神のお記とないで、永遠の命を得るためである。』でしたいで、永遠の命を得るためである。』でした

第三、"インマヌエル"と言う名前です。

マダイ1章22節と23節へ記録は『このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名は、「神は我々と共におられる」という意味である。』では非常に驚くべきで意味深いです。これはすなおもれたイエスの中に神が居る、イエスはすなわち神であることを話してくれます。

第四、"救い主"と言う名前です。

'救い主'という名称は'救援者'という意味 です。旧約聖書で救援という言葉は自らはどう しても抜け出せない状態にいる者を第三者が引 き上げ出してくれる事に適用されました。イス ラエルの歴史を通じて啓示された神は救援者で す。エジプトで僕生活をしていたイスラエルを 神様が導き出して約束の地に入るようにしまし た。その外にもイスラエルは歴史の中で多くの 神からの救援を経験しました。イエスによる救 いに対する概念はイスラエルとの関係を乗り越 えてすべての人に至りました。救いの主要概念 は罪からそして, 罪人に対する神様の終末的な 懲罰からの救いを意味しています。この救いは 罪許しと最後の審判を免除されるし、永遠の命 と天国に参加する特権まで含んでいます。救い はイエス様の贖われを信じるすべての者に許る されたのです。だから救い主の誕生消息は大喜 びの良いお知らせです。

第五、"キリスト"と言う名前です。

"メシア"はヘブライ語で,"キリスト"はギ リシア語です。"油注がれた者"という意味で す。これは重要な責任を負けるように神が選ん だ者に油注ぎ聖別する儀式から由来しました。 旧約時代に予言者、祭司長、王に油を注ぎまし た。神様が罪人を救うために独り子イエス様に 唯一の拘束者で仲保者としての任務を任して聖 霊で油注ぎました。キリストイエス様が行った ことは油注がれた者すなわち、『キリスト』の 職分を遂行したのです。イエスは神様のお話を 伝える予言者の任務を完全に果たしました。キ リストは永遠に大祭司長としてご自分を供え物 で捧げて一気に拘束使役を成しました。万王の 王であるキリスト様は聖徒たちの魂を永遠に守 って下さいます。将来世の中を裁き治めるため に来て、公議で統治するその国で住む人は絶対 的な平安と完全な幸せを享受するようになるで しょう。

第六、"主"と呼ぶ名前です。

韓国語聖書へ"主"で翻訳された原語はヘブライ語では"アドナイ"、ギリシア語では"キュリーオウス"です。聖書はこの用語を神様人をいるとは主であるとは主であるとは主であるとは主であるとは自分を"イエストの僕"だと紹介して光学であると思いてよりですると思いて表するととを是認するに後のです。ですから生きるべきです。

第七、 "神の言葉 "と言う名前です。

ヨハネ福音『初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。』としまして、『言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。』(ヨハネ1:14)

言は肉となって、人の形で来られたから、その名を"イエス"と呼ぶようになりました。それから、"神様の言葉"は"イエス"と言う名を呼ぶ前の聖子神様の呼称です。